

# 住民サービス向上のために

## 川根本町高度情報基盤整備事業について

事業概要については、町政懇談会で説明したほか、「広報かわねほんちょう3月号」で町民の皆さまにお知らせしました。現在は、本事業の調査・設計業務を実施しています。今回は、3月までにお知らせしたことに加え、現在までの経過について説明します。

### 1. 事業の必要性

まず、町内では採算性などの問題から、民間事業者による超高速インターネットと呼ばれるサービスが提供されていないため、都市部と比べ情報通信の利用状況に格差が生じています。

また、同報無線の屋外スピーカや無線局舎などは老朽化が著しく、町内各世帯に設置してある戸別受信機の一部は、部品の供給停止により修理不能の状態となっています。

そのため、町では「町が設備を整備し、整備後の施設を民間事業者に貸し出す」という「公設民営方式」を採用し、「国内水準に届かない最低の情報通信環境を改善」、「住民サービスの向上」、「情報格差をなくす」、「老朽化が著しい同報無線の更新を行い町民の安心・安全を保持すること」を目的とした本事業の調査・設計業務に着手しています。

#### ▽調査・設計業務

契約期間：平成26年2月7日から6月30日  
委託先：中国ブロードバンドサービス株式会社

(広島県安芸高田市)

### 2. 事業の経過説明

現在、着手している調査・設計業務の内容は町内を次の2種類のネットワークで構築するよう設計しています。

①「高速無線ネットワーク」  
災害の影響を受けにくく、維持管理もしやすい高速通信を可能とした無線ネットワーク。

②「光ファイバネットワーク」

機密情報を取り扱う公共機関がある地域を結ぶ、光ファイバを使用したネットワーク。

①と②のネットワークにより、町内が高速無線地域と光ファイバ地域の2つの地域に分かれることとなりますが、インターネットをどちらの地域で利用しても国の補助基準を満たす30Mbps以上の通信速度を確保するよう設計します。

また、③現在の同報無線屋外スピーカの場合はそのまま使用し、「設備のみ更新」をします。

そして、④全世帯に同報無線の戸別受信機に代わる、画面の付いた端末機を無料で設置します。

この端末機は、現在の同報無線と同様に緊急情報や行政からのお知らせの配信など無料でお届けします。端末機は、このような無料サービスのほか、希望する方はIP電話(有料サービス)の利用も可能となります。

す。

### 3. 調査・設計業務の進捗状況

次の(1)～(3)は平成26年4月末現在の進捗状況です。

(1)主要幹線(大井川鐵道の電柱や、大井川沿線の中部電力(株)及びNTTが所有する電柱・橋梁の管路を利用)に光ファイバを敷設するルート確定作業

(2)無線ネットワークの中継局を設置する箇所の確定作業

(3)設備の核となるセンターとサブセンターの設計を行い、サーバー等の機器を設置するセンター施設は山村開発センター1階に、サブセンター施設は文化会館の2階に設置することとしました。

### 4. 現地視察の実施

4月16日・17日の2日間、中国ブロードバンドサービス株式会社が昨年度からサービスを提供している広島県安芸高田市へ現地視察を行いました。視察したのは、前情報通信基盤整備事業推進検討委員・区長・商工会女性部・町議会議員・役場担当者から選出した25人です。

16日は、安芸高田市役所にて市担当者から事業概要を、安芸高田市甲田支所での各世帯に導入済みの端末機のデモンストラーションと説明を受けました。

翌17日は、安芸高田市で提供されている中山間地域(山田地区・向山地区)での無線活用事例と無線環境下での端末機とパソコン

ンを利用したインターネットの動作状況について確認を行いました。

「参加した皆さまの意見」

▼「端末機を実際に見る前は、お年寄りにも使用可能か不安だったが、タッチパネル方式で簡単だと感じた。緊急時は画面にお知らせができることやテレビ電話で安否確認ができることも良いと思った」

▼「無線環境下でのインターネット使用について、思っていた以上に回線スピードがあるので安心して。中継、中継でつないでもそれ程回線スピードに影響が無いというのは驚いた」

▼「端末機は利用しやすいと感じたが、機器に不慣れな高齢者でも操作できるようにサポート体制など考える必要がある」

▼「安芸高田市は、福祉に偏りすぎの整備だと感じた。本町においては、見て楽しんで勉強できる配信など、機器に強い子どもや若者にも魅力があり、利用しやすい環境整備が必要だと思った」  
などの声がありました。

町では、今後の事業推進にあたり視察参加者の意見を参考に、住民サービス向上のため、さらに検討を進めていきます。

本事業について、町民の皆さまに分かりやすい説明と、進捗状況を引き続きお知らせしていきますので、よろしくお願いいたします。

【問】企画課・広報情報室 ☎(56)22221

◀安芸高田市で導入している端末機の説明を受ける視察団



## 高度情報基盤整備事業 ネットワークイメージ

高度情報基盤の利活用により、都市部と変わらない生活環境を整備し、住民サービスの向上を目指します

